

市の熱中症対策について 旧ひばりが丘中学校跡地活用の進捗状況

無所属 下田 純一(しもだ じゅんいち)



問 市の熱中症対策について問う。
答 熱中症対応フローチャートを示した。高齢者に対しては、ささえあい訪問協力員や地域包括支援センターでの見守りや声かけを行っている。学校では暑さ指数が31度以上の際は、学校で行う部活動等、体育的活動は原則中止としている。
問 シルバー人材センターの熱中症対策について問う。
答 塩タブレットの配布、熱中症予防LINE、就労時間の変更、ポロシャツ、帽子の貸与、空調つき作業着の購入助成をしていると聞いている。
問 駅前にミストシャワーの設置の要望があるが、市の見解を問う。
答 他自治体の例も参考に調査研究をしていく。
問 旧ひばりが丘中学校跡地活用の

進捗状況について問う。
答 アンケートや意見交換会で近隣の方の意見を伺った。テニスコート施設整備に関わる工事や運営時等における音や砂ぼこりを危惧する声も頂いている。
問 旧ひばりが丘中学校跡地以外にテニスコート設置の候補はあるか。
答 引き続き公共施設の跡地活用の協議と併せて検討していく。



▲旧ひばりが丘中学校跡地

一般質問から



議長を除く26人の議員が、市政全般について市長や教育長などに様々な角度から質問しました。

質問者がまとめた内容を、質問順に掲載します。

全文は後日、会議録に掲載されます。公開予定日は8面をご覧ください。

動画視聴はこちらから!



〈本会議中継QRコード〉

(次の定例会の中継が公開されると、視聴は終了します)

ネットいじめ防止e-ネットキャラバンの導入!『市民まつり』の快適性の向上を!

立憲民主党 菅原 みほ(すがわら みほ)



道路陥没とインフラ管理

問 5月20日発生の市内道路陥没を踏まえ、今後の優先点検や保全計画にどのように反映されるのか問う。
答 下水道プランの見直し検討の中で下水道ストックマネジメント事業の取組を検証しながら安心・安全の確保、強化に取り組む。
児童・生徒のネットリテラシー教育
問 ネットいじめの未然防止、ネットリテラシー*教育の充実に向け、e-ネットキャラバン*を市内の小中学校で導入することについて見解は。
答 各学校への情報提供を行っていくが、校長会とも協議する中で調査研究を進める。
シルバー人材センターの熱中症対策
問 屋外で活動する就業会員に空調つき作業着や冷感タオルの支給支援が必要と考えるが具体的な支援は。

答 今年度より空調つき作業着の購入助成を実施する。
市民まつりの快適性の向上
問 仮設トイレは男女比率が同数の設置であり、女子トイレの混雑緩和、授乳・おむつ替えスペースの確保が必要。また、飲食の出店が多い中で机や椅子を置いた飲食スペースの確保が必要と考えるが見解を問う。
答 課題とし実行委員会と共有する。



▲市民まつり(昨年の様子)

ハンディキャブ「けやき号」の運行範囲

無所属 長井 秀和(ながい ひでかず)



問 ハンディキャブ「けやき号」の運行範囲と利用用途に関して問う。田無庁舎から原則半径30キロメートル以内と規定されており、昭和62年に範囲が決定して38年間続いているが、見直しの対象となっていないか。38年前と比較して、道路交通事情、利用者の動静、車両の改善と考えると、適正な運行範囲は変化するものと想像に難くないが、どうなのか。
答 ハンディキャブ「けやき号」の運行は、身体等の障害で車椅子を使用しなければ外出が困難な方や重度の視覚障害者の方の移動を支援するために実施して、日常生活の利便性向上や生活圏拡大を目的とする事業。利用範囲は、利用者本人の通院やリハビリ、また健全な市民生活の維持・向上のための余暇活動などを利用目的に、田無庁舎を中心として、

半径30キロメートルの範囲内で利用いただいている。利用実態は、通院など比較的近距离で利用される方が多いことや、年間を通して利用が重なり、お断りする状態もあることから、30キロメートルを超えて利用したいとお声はあるものの、現状の体制では利用範囲の拡充は難しいものと考えている。



仕事と育児の両立に心身の余裕を 休息に対するニーズ把握をさらに推進せよ

維新・国民民主 鈴木 ゆうま(すずき ゆうま)



問 共働き、フルタイム世帯の増加により、保育ニーズが多様化・深刻化している。市の子育てニーズ調査から、子どもへの愛情に関する項目では高い水準が維持されている一方で、「自分の時間がない」「仕事と育児の両立ができていない」と感じる保護者が増えている。心の余裕が必要であり、子どもへの対応にも影響してくると懸念する。こうした状況を受け、市は今後どのような子育て環境整備を進めていくのか問う。
答 計画では、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談、子育てひろばの充実、地域人材の活用などの支援を進めていく。休日保育については、ベビーシッターやファミサポを案内し、経済的負担軽減の観点から、ベビーシッター助成も検討中である。リフレッシュ支援としては、ショート

ステイ事業も取り組んでいく。
意見 アンケート調査を見る限り、ベビーシッターに対するニーズもそれほど高いとは言えない。なぜ休息を求めている子育て世代のニーズがこれほどまでに少ないのか、本当のニーズは何なのか、詳しく分析をすべきである。



高齢者の暮らしを共に考えサポートする! 次世代を担う子どもたちに平和な社会を!

立憲民主党 森 しんいち(もり しんいち)



高齢者の「おひとり様の暮らし方」
問 ひとり暮らしの高齢者が増えている現状に対する市長の課題認識について問う。
答 ひとり暮らしの高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、公的な支援やサービスだけでなく、より地域ぐるみの見守りや支え合いが必要と考える。
自治体・町内会活性化支援
問 地域住民同士のつながりの希薄化、役員の高齢化や担い手不足など課題を抱えているが、地域活動の必要性をどのように考えているか。
答 地域コミュニティ・地域組織の高齢化や社会環境の変化による役員の成り手不足など課題解決に向けた取組が必要であると考えている。

「核兵器禁止条約への署名・批准」に対する西東京市の考え方
問 唯一の戦争被爆国である日本は、早期に核兵器禁止条約への署名・批准をすべきと考えるが、非核・平和都市宣言をしている西東京市はどのように考えているか。
答 本市では、非核・平和都市宣言に加え、平和首長会議を通じ、締約国会議へのオブザーバー参加や核兵器禁止条約に署名・批准するよう、内閣総理大臣へ要請を行っている。



▲高齢者の見守りをするささえあい協力員、団体の目印ステッカー

*ネットリテラシー インターネットを安全・適切に利用するために必要な知識やスキル
*e-ネットキャラバン インターネットでの安心・安全な利用のために、保護者・教職員等向け及び小学生から高校生向けに実施する啓発・ガイダンス